

校長室の窓から 87

070723 セミ界のベビーブーム(たぶん)

昨日に引き続き、今日も熱中症警戒アラート。
朝から、暑いです。

出勤すると、校長室の窓にはセミがくっついていました。
網戸に張り付いて中を覗いているので、少し気恥ずかしい気持ちになりました。

中太閤山小学校の校地には木々がいっぱいあるため、この時期はミンミンとセミの暑苦しい(!?)合唱が響きます。気のせいかな、本日はいつにも増してセミの声がにぎやかな気がしました。

玄関では、登校してきた子供たちが、セミの抜け殻をあちこちで拾って、見せてくれました。梅雨も明けたので、セミの世界ではベビーブームが来ているのでしょうか。

セミの羽化を見たことのある子供たちが、さなぎが羽化するときの動きや、羽化したてのセミの羽の色や動きを詳しく話してくれました。「へえ、すごい!」と感心しながら聞き、身近に豊かな自然体験ができるこの地域環境が、改めて素晴らしいなと思いました。

暑さを増長させるセミではありますが、羽化してからの命は1~2週間とたいへん短いことが知られています。幼虫として7年地中暮らしをした後、やっと羽化するのですから、少々暑苦しくても思う存分ミンミン鳴いて、短い命を全うしてほしいと思いました。

何しとんが？

(とは言っていないか…)



愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり